

An aerial photograph of a wide river, likely the Tone River, flowing through a lush green landscape. The river is the central focus, with a bridge visible in the foreground. The surrounding area includes fields, some urban development, and distant mountains under a clear blue sky.

自然再生事業における 沿川中学校との連携

利根川下流河川事務所 流域治水課 降幡信我

目次

- 1.背景と目的
- 2.中学校と連携した環境学習
- 3.特に工夫した取り組み
- 4.成果と考察
- 5.今後の課題と取り組み

目次

1.背景と目的

2.中学校と連携した環境学習

3.特に工夫した取り組み

4.成果と考察

5.今後の課題と取り組み

1. 背景と目的

位置図



利根川下流河川事務所の概要

- 利根川は大水上山を源流として銚子河口まで流れており、流域面積は16840km²。
- 利根川下流河川事務所は、取手市から銚子市までの約85.5kmを管理している。

1. 背景と目的

利根川下流部はどんな場所？

干潟や沼地など良好な湿地環境
広大なヨシ原が広がっている



オオセッカ



コジュリン

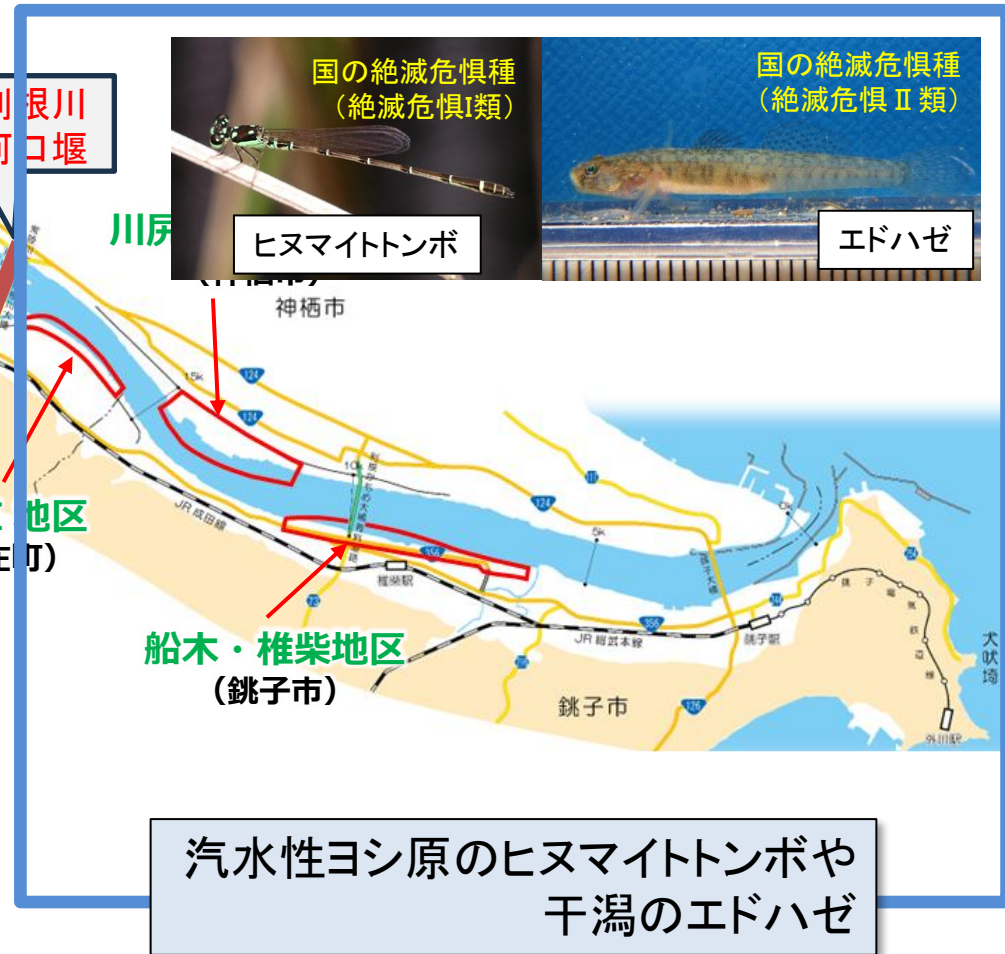


貴重な動植物が生息



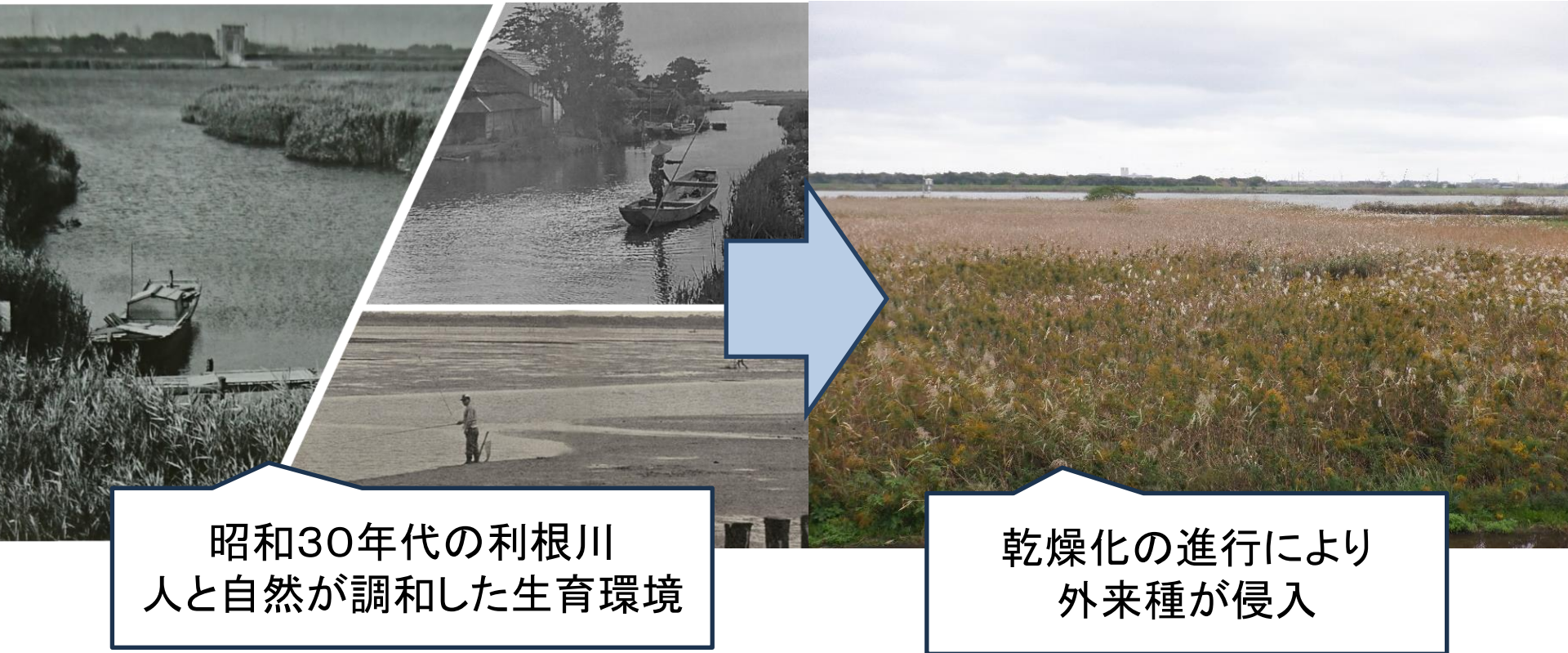
オオセッカの巣

1. 背景と目的



利根川河口堰を境に、2つの特徴ある環境特性

1. 背景と目的



多様な生物の生息に適したヨシ原等の
自然環境を再生・保全

➡ 2013年から自然再生事業が開始

1. 背景と目的

自然再生目標

多様な生物の生息・生育場を育む湿地・水際環境の保全・再生

●利根川下流部の自然再生整備箇所

事業範囲

まとまったヨシ原・湿地が存在する
6k～35kを事業の対象区間とする。

小見川・高浜地区
(香取市・神栖市)

利根川
河口堰

川尻・矢田部地区
(神栖市)

東庄Ⅱ地区
(東庄町)

東庄Ⅰ地区
(東庄町)

船木・椎柴地区
(銚子市)

- : ヨシ原再生
- : 干潟再生
- : 河岸再生
- : ワンド・湿地・水路再生

オオセッカ

ヨシ原環境



干潟環境



河岸環境



ワンド・湿地・水路



1. 背景と目的



自然再生事業により良好な自然環境を取り戻した場所でも
人の手が加わらなければその環境は失われてしまう

良好な自然環境を保持するための**持続的な取組**が必要可決

1. 背景と目的

○環境は治水と密接に関係していること

○自然環境の適切な維持管理について

上記について**理解と協力を得ることを**目的として
中学校と連携した環境学習を開始

将来的に

環境学習をとおして自然環境に興味を持った生徒が
保全・再生に取り組む**担い手となること**

目次

1.背景と目的

2.中学校と連携した環境学習

3.特に工夫した取り組み

4.成果と考察

5.今後の課題と取り組み

2. 中学校と連携した環境学習

環境学習 =

座学



+

体験学習



自然環境について、よく知らない生徒・関心の薄い生徒

➡ 中学校の位置する**地域の特色を活かした内容**

2. 中学校と連携した環境学習



2. 中学校と連携した環境学習

東庄中学校

フィールド: 東庄Ⅱ地区
目的: ヨシ原環境の改善



ヨシの刈り取り



よしづくり(茅葺き職人による指導)
※学校内で日よけとして活用



鳥類観察



オオセッカの生息環境改善を
目的としたヨシ焼き



ヨシの植生調査



ヨシ焼きへの参加

銚子西中学校

フィールド: 船木・椎柴地区
目的: ヨシ原環境・湿地の改善



先輩がイメージを作成した池での
魚類採取(たも網)



ヒメマイトンボ



キイロホソゴミムシ



イメージマップ



魚類観察



鳥類観察

オオセッカ、コジロシ

2. 中学校と連携した環境学習

波崎第二中学校

フィールド：川尻・矢田部地区
目的：干潟・ワンド・湿地の改善



干潟での底生動物生物採取



ヤマトシジミ



ミズゴマツボ



ゴカイ



コウノトリ



アオサギ



底生動物生物の観察



鳥類の観察

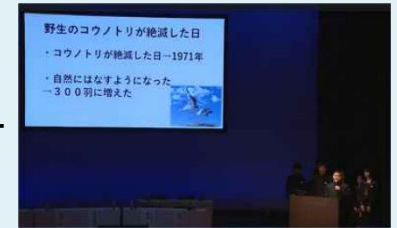
シンポジウム

地域と利根川の新たな関係を築き、利根川の自然環境のこれからについて意見をもらう

令和5年度 神栖市における開催状況



講演



+

環境学習に参加した
中学生の発表



パネルディスカッション

令和6年度は地元銚子市の大学(千葉科学大学)で開催予定(H7.2.5)

※千葉科学大学とは水防教育における連携協力の協定を締結



目次

1.背景と目的

2.中学校と連携した環境学習

3.特に工夫した取り組み

4.成果と考察

5.今後の課題と取り組み

3.特に工夫した取り組み

中学生考案の「理想の船木・椎柴地区」

鳥類の営巣に適した環境を形成する(注)。

湿地を形成して、ヨシ原の再生を促す。(注)

キイロホソゴミムシに配慮して、冠水しにくい地形を形成する(注)。

注)中学生が作成したイメージマップを基に書き加えた。

ヒスマイトトンボ
大きさ30mm前後と小型で細長い。メス→赤褐色。オス→黒色。胸には緑色の斑点が4個ある。

キイロホソゴミムシ
胴体はオレンジ色。脚は黒い。表面は細毛でおおわれている。行動がすばやく、茎の上でも素早く動ける(約8mm)。

外来種
・アメリカナマズ
・ブルーギル
・ブラックバス

ハマガニ
甲は丸みを帯びた四角形。表面は平骨で甲の前側縁に低い3本の鋸歯がある。

※1, 2)汽水域での生息は難しい。

ヤリタナゴ(※1)
タナゴの中ではやや体高が低く、口の横に一对のヒゲがある。通常は銀白色だが産卵期になるとオスはエラフタなどが淡紅色になる。

オオセッカ(※2)
ジャジャと鳴き、ヨシ原に生息する。繁殖期は、草むらにおりる行動をくり返す。

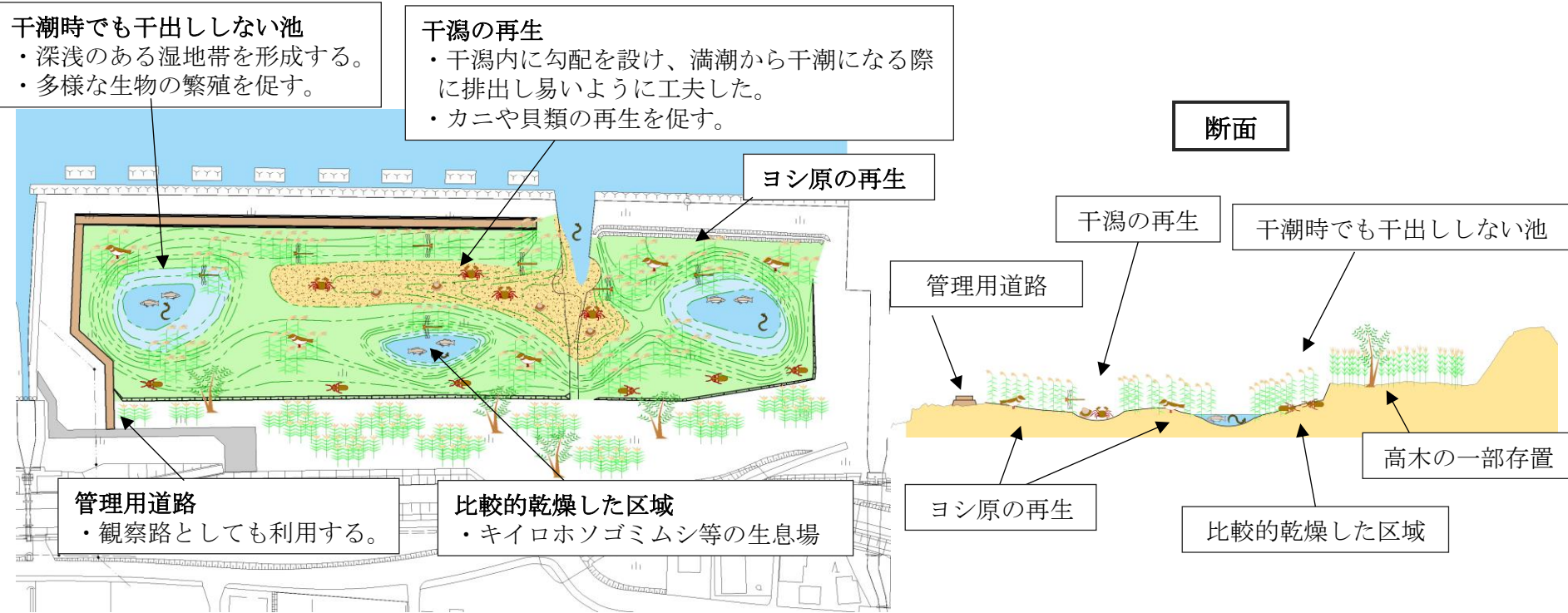
多様な生物の再生に配慮して、深淺のある湿地帯を形成する。(注)

湿地と陸地が分けて描かれている



3.特に工夫した取り組み

中学生の絵を元に設計を行った船木・椎柴地区の自然再生事業は今年1月に完了。



この先環境学習を行う生徒にとって、船木・椎柴地区は
「先輩の思いを元に作られた場所」

工事着手前



工事完成後
令和6年1月



令和6年7月



目次

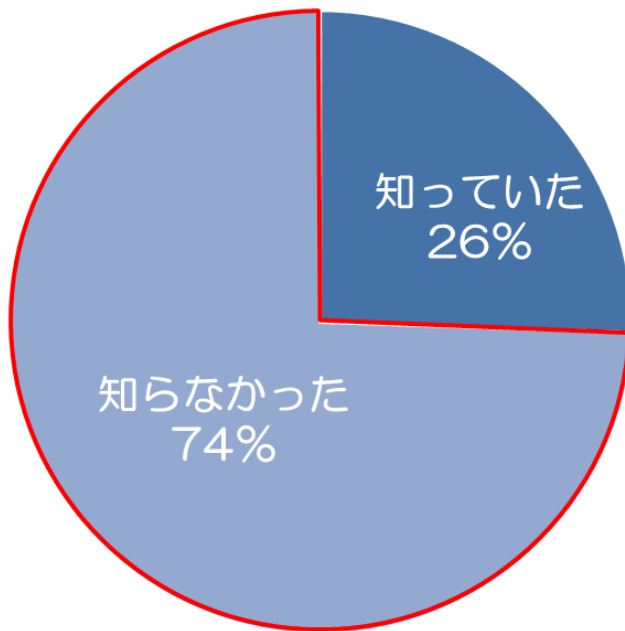
- 1.背景と目的
- 2.中学校と連携した環境学習
- 3.特に工夫した取り組み
- 4.成果と考察**
- 5.今後の課題と取り組み

4. 成果と考察

座学・体験学習の後のアンケート調査

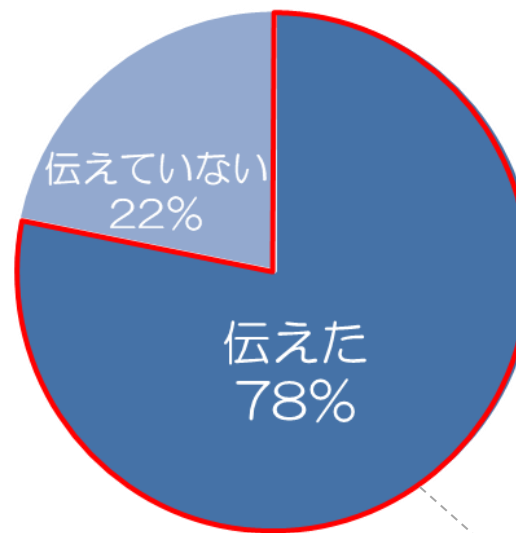
・対象者：環境学習に参加した生徒 約230名

問：自然を豊かにする取り組みが行われていることを知っていたか？

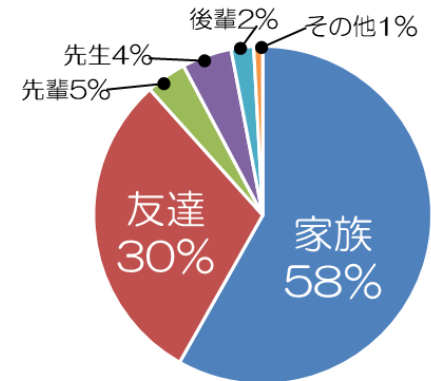


自然再生事業の認知度は低いことから、より一層周知の取り組む必要がある。

問：体験した内容や感想をだれかに伝えたか？



<伝えた相手の内訳>



環境学習の実施は、自然再生事業の認知度向上のための有効な手段である

4. 成果と考察

○環境学習への興味関心

**問：先輩方が提案した自然再生地に対する意見や感想
(自然再生地のイメージを提案した銚子西中学校への問い)**

- 先輩たちが考えた提案で、利根川がどのように変わったかが気になる
- 生き物がたくさん住めるように設計されたところをじっくり観察したい



自分たちとの関わりが深い場所で体験学習を行ったことにより興味関心が得られている

**問：あなたが暮らしているまちと利根川との関係が
どのような姿になればよいと思うか**

- 人と自然がお互い支え合っていける関係
- もっと色々な人と利根川の魅力を共有することが大切
- 今だけでなく利根川の将来についても頭の片隅においておきたい

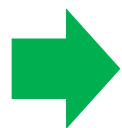


**自然との共存、共有、将来に関する意識が見られ、
生徒の自分ごと化につながっている**

4.成果と考察

シンポジウムの開催

- 神栖市・銚子市・香取市・東庄町の3市1町で令和元年より開催
- 環境学習に参加いただいた3校の学生が発表



大きな舞台で発表したり見た方は
思い出として記憶に定着



4.成果と考察

- ・認知度向上、理解促進のため

- ・本取組みは有効

- ・地域特性を生かした環境学習を通して、

- ・「自分ごと化」とする契機となった

目次

- 1.背景と目的
- 2.中学校と連携した環境学習
- 3.特に工夫した取り組み
- 4.成果と考察
- 5.今後の取り組み

5. 今後の取り組み

課題：自然再生地の活用と地域活性化

1. モニタリング・維持管理の継続
2. 自然再生地を活用した学校教育への広がり
3. 地域の活性化・地域振興への展開



取り組み

1. 自然環境に関する発信（SNSでの発信、HPの拡充）
2. 環境維持の取り組み（ヨシ焼き、簡易モニタリングの実施）
3. 地元企業、自治体との連携（啓発、イベント開催）

5.今後の取り組み

○利根川下流域の貴重な自然や大切を知ってもらう

○自然再生が継続できるように、対象者を学校に加え、流域住民、地元企業にも広げて展開していく



コウノトリ

ご清聴ありがとうございました



ヒメマイトトンボ



オオセッカ



コジュリン

主な関係者

(地域の関係団体)

- 東庄町立東庄中学校
- 銚子市立銚子西中学校
- 神栖市立波崎第二中学校
- 波崎愛鳥会

(調査設計関係者)

- エコー・河川財団・日水コン共同体

開催テーマ

水郷・利根川の魅力と地域とのつながりを考える

基調講演

成すべき行動は 大人になるまで待たなくても良い

田中 謙次 一般社団法人 環境文化研究所 代表理事

話題提供

利根川の災害の記憶を未来に伝える 藤本 一雄 千葉科学大学 教授

利根川の歴史と文化、西洋に照らし合わせてみると 浅枝 隆 埼玉大学 名誉教授

発表

利根川の自然環境を活用した体験学習に参加して

東庄町立東庄中学校2年生 波崎第二中学校1年生 銚子市立銚子西中学校1年生

パネルディスカッション

コーディネーター 坂 有希子 鳥類専門家

パネリスト

越川 信一 銚子市長

田中 謙次 環境文化研究所 代表理事

藤本 一雄 千葉科学大学 教授

浅枝 隆 埼玉大学 名誉教授

木村 佳美 銚子西中学校 教諭

in
銚子



本シンポジウムは、土壌学会CPD認定プログラムです。

受講証明書は、シンポジウム終了後のアンケートにご回答いただくことで、発行させていただきます。
事前にご登録頂いたメールアドレスに受講証明書を送付いたします。

開催日 令和7年 2月5日(水) 受付開始 12:30 ~ 13:00 ▶ 15:30

締切
1/28
火

会場 千葉科学大学マリーナキャンパス 看護学部棟2階6201



参加費 無料

会場 先着 100名

オンデマンド 配信 200名

配信期間：2/17～3/7

参加
方法

事前登録

右記QRコードの「申込み専用フォーム」
からお申込みください。

問合せ先

国土交通省 関東地方整備局 利根川下流河川事務所 総務課 水郷

TEL 0478-82-8366

担当 国村・窪田

共催



国土交通省 関東地方整備局
利根川下流河川事務所



千葉県
銚子市



千葉県
香取市



千葉県
東庄町



千葉県
神栖市

協力

千葉科学大学
千葉県内水面漁業協同組合連合会
茨城県内水面漁業協同組合連合会